様式３(2015.06改)

作成日　平成31年3月20日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000472
事業所名	グループホーム此の花

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	開設1年目ながら地域住民の助力を得て、祭りなどの地域行事に参加できた。 地域から人形劇のボランティアが来訪し、散歩に出れば住民と会話ができる関係がある。 隣接の喫茶店もホームを理解し、受け入れられている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	利用者、家族、地域代表、地域包括支援センター職員と、多様な人材が参加して、運営推進会議を年6回開催している。 ホームの現状報告や地域情報の収集のほか、高齢者福祉に馴染みのなかった地域に、介護情報を提供している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	グループホーム協議会や市のサービス連携協議会に参加して、情報交換したり助言を受けたりしている。 市主催の研修会では、参加各事業所と行政が連携して講師を見つけるなど、密な連携が図られている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族会への参加率は高く、運営推進会議や来訪時、随時の電話と、家族意見や要望を聞き取る機会は多い。 聞き取った情報は申し送り時に共有し、家族からの柚子の差し入れは、食事や柚子湯に活用している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	—
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	